

市民生活

Q 自治会の活性化に向けた施策を

A 参加したくなるような新しい仕組みを検討していく



自治会の活性化へ（西市民センター）

自治会は地域コミュニティにおいて中心的な役割を果たし、災害時にも住民が互いに支え合い、協力していく上で必要不可欠な組織である。

問 活力ある自治会組織への推進方策は。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画に基づき活動支援や地域活動への参加機会の創出に努めている。負担軽減策として、自治会の業務を整理し、市民センターなどが負担の受皿となるよう、共助、互助の機能を検討する。自治会が顔の見える関係づくりなど、本来の活動に注力しやすくなることを目指す。

加入促進策には、住民の事情に応じた会員制度や、役割に応じた特典などの新しい仕組みを検討していく。新たな施策を進め、活力ある自治会組織の推進に取り組んでいく。



たかしの
まさひろ
高篠 雅洋
議員



都市整備

Q インフラの整備について

A 道路舗装修繕計画に基づき舗装修繕に取り組んでいる



市道の現状

問 鶴ヶ島市道路舗装修繕計画における現状と課題は。

答 経年劣化や交通量の増加などにより、特に幹線道路の面の損傷が顕著に現れている。現在、鶴ヶ島市道路舗装修繕計画に基づき舗装修繕に取り組んでいる。

課題は、築造から20年以上経過した都市計画道路の舗装修繕である。施工による多額の経費や交通規制による周辺道路を含めた渋滞への対策などの課題を整理し、今後も舗装修繕を適切に実施していく。

また、圏央鶴ヶ島IC周辺の道路整備や国道407号バイパスの開通などにより、交通環境が変化するため、今後、各路線の再調査を行い、損傷の管理頻度などの各評価項目により新たな計画策定を行っていく。



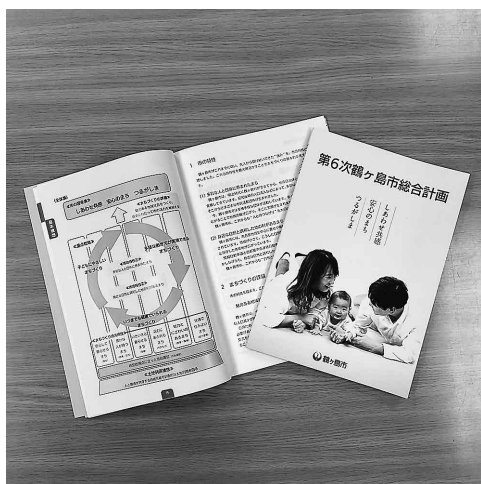
たかしま
まさのり
瀧嶋 正紀
議員



市政運営

Q 齊藤市政5年間の評価は

A 愛着度や定住意向を更に高める取組を進めていく



齊藤市政の評価は

本年度中に第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画が作成される。前期基本計画の中間評価が示されたが、惨憺たるものと感じた。改めて市長の評価を確認する。

問 市長の評価と感想について。

答 市民意識調査の結果が芳しくなかったことは真摯に受け止めている。引き続き愛着度や定住意向を更に高める取組を進めていく。

問 後期基本計画に引き継がれる教訓は。

答 前期基本計画の評価などを検証し後期基本計画に臨むことが重要である。現状把握などの分析を行い、政策立案に生かし、重点戦略や前期基本計画の必要な見直しを行う。

重点戦略を柱にまちづくりの課題解決に取り組む政策と各施策を確実に実行し、安心して暮らし、幸せを感じるまちづくりを進める。



はせがわ
きよし
長谷川 清
議員

